

手順テキストにあらわれる時間関係と条件関係の接続形式

宮部 真由美

要旨

この論文では、家電製品の使い方の説明が書かれているテキスト(手順テキスト)において、時間関係と条件関係の複文を構成する接続形式「スルト」、「シタラ、シタアト、シテカラ」、「スルニハ、スルトキ、スルバアイ」、「シタトキ、シタバアイ」を分析する。そして、これらの形式が、本稿で手順テキストとよぶテキストにおいて、どのような文に用いられているのか、また、類義関係にある形式が、どのように用いられており、また使い分けがなされているのかということについて論じる。結論として、まず、手順テキストに現れる文を分類し、各形式がどのような文で用いられているかをあきらかにした。そして、類義形式の選択には、文法的な制限による選択がある一方で、ある部分ではどちらの形式を用いてもいいような場合の選択があるということがわかった。

キーワード：手順テキスト、手順文、時間関係と条件関係の接続形式、類義表現

1 はじめに

この論文では、家電製品の使い方の説明が書かれているテキスト(いわゆる取扱説明書など)において、時間関係と条件関係の複文を構成する接続形式をとりあげて分析していく。

家電製品の使い方の説明が書かれているテキスト(以下では、手順テキストとよぶ)では、中心となる文は、読み手＝文にさしだされる動作の動作主が行なう操作(動作)が順番に書かれた文(以下では、手順文とよぶ)である。手順文に複文が用いられた場合、その接続形式には、たとえば、「シタラ、シタアト、シテカラ」、さらに、読み手が行なう操作に複数の方法がある場合には「スルニハ、スルトキ、スルバアイ」、「シタトキ、シタバアイ」が用いられていた¹。ここにあげたものには類義関係にある表現形式がいくつかあるが、このような表現形式がどのように用いられており、また使い分けがなされているのかということをあきらかにすることが、本稿の一つ目の目的である。

また、先行研究における、いわゆる取扱説明書など(「マニュアル文」と呼ばれることがある)を対象とした研究では、こうしたテキストには「スルト」が多く用いられていることを述べるものがある(森ほか(1995)など)。家電製品の使い方の説明が書かれているテキストを概観すると、そこには、操作の手順だけではなく、そうした手順や手順に関連する補足的な説明も書かれている。そして、後述するが、ほとんどの「スルト」の用例は、補足的

1 「スル／シタトキニ」、「スル／シタバアイニ」の形も分析対象としている。また、「スル／シタトキハ」、「スル／シタバアイハ」の形も厳密には区別すべきであるが、「スルニハ」節と対照したいと考えたため、分析対象としている。

な説明が書かれている箇所に用いられており、操作の手順を表わす手順文には用いられていない。接続形式の数量的なことを述べるのであれば、手順テキストがどのような文で構成されているかをあきらかにして、どのような文において多く用いられているのかを分析する必要があるのではないかと考える。そこで、手順テキストがどのような文で構成されているかをあきらかにすることが、二つ目の目的である。

日本語学的には、本稿で取り上げる接続形式のそれぞれを詳細に分析した研究はあるが(言語学研究会・構文論グループ(1988a,b), 工藤(1992), 日本語記述文法研究会(2008), 宮部(2013)など), 具体的なテキストにおいて、同じテキストに表われるいくつかの類義表現形式との関係において、接続形式をとらえたものは管見の限りない。また、日本語教育では、なんらかの手順を表わす文を教材とする場合、「シテ(中止形節)」を学習したときや、「シテカラ」や「スルト」、「シタラ」などをそれぞれ学習したときに用いるようである。しかし、その際に、これらの表現形式を同時的・複合的に用いたようなテキストを用いることはあまり行っていないようである。一方で、料理のレシピや、地域の防災マニュアルなど、実際の手順が書かれているテキストをみると、日本語教育用の教材とは異なり、文法形式がコントロールされてはいない。中上級や上級の日本語学習者であれば、こうした手順テキストを読んだり、また自らが書いたりする機会も増えると考えられる。本稿の上で述べた目的をあきらかにすることにより、こうしたことを考えるための基礎資料となるのではないかと考える。

以上から、本稿では、時間関係と条件関係とがとらえやすいと思われる家電製品の取扱説明書を分析対象とし、手順テキストのなかで、時間関係と条件関係の複文を構成する接続形式をどのようにとらえることができるのか考察していくことにする。

2 対象とするテキスト

用例はブルーレイレコーダーの取扱説明書から採集した。先にも述べたように、取扱説明書は、たいていの場合、読み手(動作主)が行なう操作・動作が、順番に書かれたテキストであり、できごとの時間的な関係をみるのに適しているといえる。また、操作には、複数の方法がある場合があるが、そうした条件的な関係が記述されているテキストでもある。

用例採集には、書き手による偏りをふせぐために、シャープ、ソニー、東芝、パナソニック、三菱の5つのメーカーの取扱説明書から用例を採取した。そして、用例は、各社とも扱っている「録画」に関するページ(目次にある「録画」の見出しにあたるページ)から採集した。また、操作が複雑である「録画」の操作は、条件関係をみるのにもより適していると考えた。ただし、「録画」に関するページ(目次にある「録画」の見出しにあたるページ)の中にあっても、録画に関係のないページ(例えば、録画可能なディスクの説明など)からは用例を採集しなかった。また、見出しになっていたりして(「1.録画するとき」「◇ディスクを変更するには」など)、主節が明示的に記述されていないものも分析対象とはしなかった。

3 手順文とは

手順例 1 は、操作手順を表わす文(手順文)である。このような具体的な操作の手順や方法を表わす文は、読み手(二人称)が行なう動作が述べられていて、主節の述語はスル形式が用いられているが、「シテクダサイ」や「シナサイ」となるような依頼や命令といったモーダルな意味と同じような意味を表わしているにとらえることもできる。そして、読み手(二人称)が行なう動作が述べられていることから、主節の述語は動作動詞で、意志的な意味をもつ動詞である。書き手は、こうした動詞を用いて、読み手が行なう動作を順に述べていく。

手順例1.

- ① [地上][BS][CS]を押して、放送を選ぶ
- ② [1]~[12](リモコンのふた内部)または[チャンネルボタン]を押して、チャンネルを選ぶ
- ③ [録画モード]を押して、録画モードを選ぶ
- ④ [ワンタッチ予約録画]を押す
- ⑤ 録画の修了方法を選び, [決定]を押す(pa 37)

手順例 1 のように、手順文は、複文の場合、中止形節を用いて、連続して行なう複数の動作を順に表わすのが一般的である。このような中止形節の複文は、主節も従属節も、二人称主語であり、述語動詞は二人称でしめされる動作主が行なう意志動詞である²。

以下の分析では、手順テキストに現れる時間関係と条件関係を表わす複文のうち、中止形節をのぞいた「スルト」、「シタラ、シタアト、シテカラ」、「スルニハ、スルトキ、スルバアイ」、「シタトキ、シタバアイ」の複文について、その特徴をみていくことにする。

4 分析結果

4.1. 手順テキストの構成と接続形式の現れかた

採集した用例から、手順テキストの文を分類すると次のようであった。大きくは、下記のように、手順文であるか否かという点で二分される。具体的には、「A：操作の手順・方法を述べる文」と、「B：操作に関してなんらかの説明をする文」とに分かれる。

A：操作の手順・方法を述べる文(手順文)

a1：主となる手順・方法を述べる文(手順文)

a2：従となる手順・方法を述べる文(手順文)

a3：補足的な手順・方法を述べる文(手順文)

B：操作に関してなんらかの説明をする文(手順文ではない)

² 手順文には、単文も、複文も用いられるが、複文のうち、最も多く用いられるのは、中止形節を従属節にとる複文である。この場合の中止形節の用法は、継起的な用法(高橋(2003)など)とよばれ、できごとが継起する場合の先行するできごとが中止形節にさしだされている。

「A：操作の手順・方法を述べる文」には、まずは、操作手順・方法のもっとも一般的であると書き手が考える手順・方法が述べられている。それを「a1：主となる手順・方法を述べる文」とよぶ。「a1：主となる手順・方法を述べる文」のほかに、さらに手順や方法がある場合があり、本稿ではそれを「a2：従となる手順・方法を述べる文」とよんでいる。「a3：補足的な手順・方法を述べる文」は、そのページでとりあげられている項目の関連する項目に関する記述において、なんらかの操作の手順や方法が述べられている文である³。

「シタラ、シタアト、シテカラ」、「スルニハ、スル／シタトキ、スル／シタバアイ」は、「A：操作の手順・方法を述べる文」に用いられることが多い。そして、最初にも述べたが、「スルト」は「B：操作に関してなんらかの説明をする文」に用いられていた。次節では、同類の類義表現がない「スルト」から述べていくことにする。

4.2. スルト節

スルト節は「B：操作に関してなんらかの説明をする文」に用いられている。この文は手順文ではない。つまり、手順文の特徴である主節の主語が二人称(読み手)であり、主節の主語が意志動詞ではない文である。

- (1) 本機／外付けハードディスク残量が少なくなると、x-おまかせ・まる録で録画したタイトルは自動で削除されます。(so 23)
- (2) 新しい番組データを受信すると、自動的に番組表の一覧の内容が更新されます。(to 25)
- (3) 「する」を選んで決定すると、選択した予約が取り消されます。(sh 79)
- (4) [地上][BS][CS]を押すと、その放送の番組表に切り替わります。(mi 84)

「B：操作に関してなんらかの説明をする文」に用いられているスルト節の用例をみると、主節と従属節のことがらの関係は、必然的なむすびつきとなっている(非一回的なことがらを表わしている)。こうした点から、取扱説明書全体をみると、スルト節は下記のような読み手に警告や注意を述べる文に用いられることが多い。

警告例1. 電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。(pa 216)

警告例2. メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。(pa 216)

警告例3. 電池は誤った使い方をしない

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破損などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。(pa 217)

主節のモダリティという点からみると、スルト節は、これまでの研究で明らかのように、

³ 用例を採集したテキストのページの一部を論文末にあげているので、参照していただきたい。

依頼や命令といったモーダルな意味を表わす主節とはむすびつかない。こうした点からも、スルト節が手順文に用いられないことは明らかであるが、手順テキストには頻繁に表われる接続形式であるため、例えば、最初に述べた日本語教育との関係でいえば、こうした特徴を注意して指導しなければならないだろう。

4.3. シタラ節, シタアト節, シテカラ節

手順文である「a1: 主となる手順・方法を述べる文」は、前節で述べたように、中止形節が多く用いられる。これは、先にも述べたように、手順文では、読み手(動作主)が行なう動作が、順番に書かれており、時間はその先へ先へと進んでいくという特徴をもつテキストであるためである。つまり、中止形節を用いることによって、継起性や順次性が表わされている。中止形節の複文以外では、(5)~(7)のように、シタラ節の複文が用いられていた。

(5) 予約の取り消しが終わったら, [戻る]を押し, 通常画面に戻す(mi 97)

(6) 設定が終了したら, 「予約を登録する」または「修正を反映する」を選び, 決定を押す(pa 50)

(7) すべて設定し終えたら, ▲・▼で「確定して前の画面へ」を選び, 決定を押す(to 28)
こうしたシタラ節と類義表現にあるシタアト節も用いられていた。(8)~(10)である。

(8) 録画予約をした後, 電源を切ります。(sh 65)

(9) 上記で「予約一覧」画面を表示したあと, 一時的に毎週/毎日録画をやめたい予約を選ぶ(mi 97)

(10) すべて選んだあと, サブメニューを押す(pa 67)

今回採集したテキストでは、シタラ節は31例、シタアト節は5例であった。シタラ形は条件形とよばれるが、(5)~(7)のシタラ節にさしだされることからは、起こるかどうかわからないことがらではなく、これから起こることが確実であることがらとしてさしだされているといえる(高橋(1983), 宮部(2013)など)。時間的には、従属節のことがらが成立・実現したのちに、主節のことがらが成立・実現することが述べられているので、こうした点において、シタラ節の複文は、<先-後>の時間関係を表わすシタアト節の複文と似ている。しかし、今回採集した手順文では、シタラ節の場合は、(11)のように従属節のことがらが二人称(読み手)の動作でないものもあったが、一方のシタアト節の場合はそのような用例はなく、この二つの従属節は、従属節のことがらが二人称(読み手)の動作でなくてはならないという点で異なっていた。また、この違いはシタラ節と中止形節との相違点でもあった⁴。

(11) 中止完了メッセージが表示されたら, 決定を押す(mi105)

⁴ また、ある操作について書かれた一連の手順文は、個別のことがらが書かれているという一方で、ある操作の一連の手順という特定の操作全体において繰り返されるという特徴をもつ文である。こうした特徴をもつ文において、シタラ節はこれから起こることが確実であるというような予測性を持つものとしてさしだされるのではないかと考えられるが、この点は今後の分析において、より明確にしていきたい。

さらに、シタアト節と中止形節との違いについて考えたいと思うが、逆に、この2つは従属節の主語は二人称(読み手)・述語動詞は意志動詞である点など、同様である点のほうがあげられる。つまり、シタアト節を用いなくても手順文の基本文である中止形節でいえることから、シタアト節の複文の用例数が少ないのではないかと考えられる⁵。

次に、シタラ節、シタアト節と類義表現にあるシテカラ節について考える。シタラ節、シタアト節と大きく異なっていたのは、手順文であっても、「a1: 主となる手順・方法を述べる文」には用いられていなかったという点である。シテカラ節は、(12)~(14)のように「a2: 従となる手順・方法を述べる文」や操作に関して、関連事項を述べる部分の「a3: 補足となる手順・方法を述べる文」に用いられていた。

(12) 毎日/毎週予約の内容を変更することはできません。変更したいときは、一度予約を削除してから、もう一度毎日/毎週予約をしておしてください。(to 33)

(13) マイディスク予約を登録したい場合は、マイディスク予約分、本体予約を取り消してから[マイディスク](ふた内)を押してマイディスク予約を行ってください。(sh 85)

(14) 《決定》ボタンを押してから、条件を設定します。(so 22)

シテカラ節も、従属節と主節の時間関係は<先一後>であるが、言語学研究会・構文論グループ(1988a)は従属節と主節の「ふたつの出来事のあいだの関係は継起性ではない」(p.3)と述べ、従属節のことがらが先行していればよいと述べている。また、工藤(1992)では、シテカラ節は主節のことがらが成立・実現する開始時点の限定・指定を行っていると述べられている(p.170)。言語学研究会・構文論グループ(1988a)や工藤(1992)で分析されているように、シテカラ節の複文では従属節が主節に先行することを積極的に表わす形式である。言い換えれば、シテカラ節は従属節の先行性を特に表わしたい場合などに用いられているといえる。こうしたことから、順番に操作を述べていくことが基本である一次的な手順文(「a1: 主となる手順・方法を述べる文」)には用いられず、「a2: 従となる手順・方法を述べる文」や「a3: 補足となる手順・方法を述べる文」のような二次的な手順文において、主節に対して、従属節の先行性を特に強調したい場合に用いられるのではないだろうか。

4.4. スルニハ節、スルノシタトキ節、スルノシタバアイ節

「～トキ」節と「～バアイ」節には、前節する動詞の形がスルとシタの場合があるが、「～ニハ」節はスルのみであるので、4.4.1節(スル接続の形式)と4.4.2節(シタ接続の形式)とにわけて述べていくことにする。

⁵ 言語学研究会・構文論グループ(1988)では、中止形節を従属節とする複文は「ひとつの活動の部分としてのふたつの動作が連続しておこったことを表現している」(p.3)と述べられている。厳密には、こうした点も考えて、特徴づけをしていく必要があるだろう。

4.4.1. スルニハ節, スルトキ節, スルバアイ節

スルニハ節, スルトキ節, スルバアイ節は, 主として「A: 操作の手順・方法を述べる文」に用いられていた。

スルニハ節からみていく。スルニハ節の複文は, 「a1: 主となる手順・方法を述べる文」に用いられる場合もあるが, (15)~(18)のように, ほかに操作方法がある場合(「a2: 従となる手順・方法を述べる文」)により用いられていた。

(15) 録画リストを消すには [録画リスト]または[終了]を押す(sh 69)

(16) 予約を取り消すには 予約リストから番組を選び, <<決定>>ボタンを押します。(so 20)

(17) 録画されているか確認するには [画面表示]を押してください。(to 39)

(18) 全チャンネル表示に切り替えるには [黄]を押す

別のチャンネルを表示するには チャンネル別表示中に[青][赤]を押す(pa 43)

(15)~(18)のように, スルニハ節に, 書き手は, 主となる操作以外に読み手が実行したいと思われることがらを想定してさしだしている。主節のことがらは, スルニハ節にさしだされることがらが想定される場合(条件となる場合)の具体的な操作の手順・方法となる動作である。そのため, スルニハ節の複文では, 主節と従属節の主語は二人称(読み手)・述語動詞は意志動詞である。しかし, 従属節と主節のことがらは時間の<先-後>関係ではない。

次に, スルトキ節とスルバアイ節とについてみていく。これらに従属節とする複文も, 「a1: 主となる手順・方法を述べる文」に用いられる場合もあるが, 多くの用例は, スルニハ節の複文と同様に, (19)~(22)の用例のように, 「a1: 主となる手順・方法を述べる文」に対して, ほかに操作方法がある場合(「a2: 従となる手順・方法を述べる文」)に多く用いられていた。

(19) HDD(ハードディスク)に録画するとき⇒HDD モードを選びます。

BD(ブルーレイディスク)に録画するとき⇒BD/DVD モードを選び, 録画用 BD を挿入します。(sh 55)

(20) 前の画面に戻るときは[戻る]を押す

通常画面に戻るときは[戻る]を押す(mi 90)

(21) 予約録画したい番組を検索する場合: 「番組表」を選び, [▶] を押す

再生・編集したい番組を検索する場合: 「HDD」「USB-HDD」「家じゅう」を選び, [▶] を押す(pa 72)

(22) そのまま/毎回録画予約する場合 [予約する]を選んでください(16 ページ)。

録画モードなども設定する場合 [予約設定へ]を選んでください(16 ページ)。(so 21)

また, スルニハ節と同様に, スルトキ節, スルバアイ節にも, 書き手は, 読み手が実行したいと思われることがらを想定してさしだしており, 主節のことがらは, スルニハ節に

さしだされることがらが想定される場合(条件となる場合)の具体的な操作の手順・方法となる動作がさしだされている⁶。主節と従属節の主語は二人称(読み手)・述語動詞は意志動詞であるという点と、従属節と主節のことがらは時間の<先-後>関係とはなっていないという特徴も、スルニハ節と同様である。

しかし、(23)~(31)のような従属節の述語が否定形やシタイの形が用いられる場合は、スルニハ節ではいうことができず、スルトキ節、スルバアイ節が用いられる。

- (23) おすすめ自動録画をしないときは 「設定しない」を選びます。(mi 90)
- (24) 上記画面が表示されない場合は、本機の映像をテレビに映してください。(→27)(pa 54)
- (25) 目的の番組が表示されない場合は、条件を絞り込んで再検索してください。(to 27)
- (26) スカパー！HD 対応チューナー側で取り消し操作を行っても本機の予約一覧から提供されない場合は、本機の予約一覧画面から取り消しを行ってください。(mi 100)
- (27) 終了時刻より前に録画をおわりたいとき ⇒録画停止を 2 回続けて押してください。(sh 59)
- (28) ワンタッチタイマー録画の録画中に録画が終了するまでの時間を確認したいときは、[画面表示]を押してください。(to 23)
- (29) 前、次ページを表示したいときは、[前]、[次/ジャンプ]を押す(mi 105)
- (30) 予約番組を修正したい場合：①修正したい番組を選び、[ワンタッチ予約録画●]を押す(pa 49)
- (31) ハイビジョン放送をそのままの画質で録画したい場合や、デジタル放送のさまざまな機能を録画後も楽しみたい場合は、「DR」で録画してください。(sh 58)

このような従属節の述語動詞の形に制限があることが、スルニハ節と、スルトキ節、スルバアイ節の選択に関わっている。また、三菱社の手順テキストには、スルニハ節が現れなかったことを考えると、書き手の好み・意識も、これらの表現形式の選択に関係していると思われる。

また、手順文ではない「B：操作に関してなんらかの説明をする文」にも、スルニハ節、スルトキ節、スルバアイ節は用いられていた。(32)のように、従属節の述語が意志動詞であれば、スルニハ節も用いられていたが、スルニハ節の用例は数例しかなく、ほとんどの用例は、(33)~(36)のようなスルトキ節、あるいはスルバアイ節であった。(33)~(36)の従属節には、読み手が行なう動作ではなく、機械・機器の設定状態などがさしだされている。つ

⁶ 日本語記述文法研究会(2008)には、「場合」という形で報道や掲示などの客観的に述べられる文書においては条件文と近い意味を表すことがある」(p.113)とある。また、「ときは」については、「場合」のような条件節の表現に近づくことも多い」(p.173)と述べられている。

まり、「B：操作に関してなんらかの説明をする文」である。

- (32) 自動で録画される番組を確認するには 自動録画の録画条件で抽出された番組や、本機が探し出したおすすめ度の高い番組など、自動で録画される予定の番組を 60 件まで確認できます(おすすめ予約リスト)。(so 23)
- (33) 残時間が 100 時間以上あるときは、「分」表示は表示されません。(sh 55)
- (34) 予約が重なっているときは、「予約一覧」画面で重なっている予約に「重○」または「重×」が表示されます。(mi 89)
- (35) 本体 HDD の残量が 10%以上ある場合、自動削除は実行されません。
- (36) インターネットに接続し、「通信による G ガイド受信」(→144)を「入」にしている場合、番組表の検索結果の表示に時間がかかります。(pa 77)

以上のように、スルニハ節の使用できる範囲がせまいため、スルトキ節、スルバアイ節が多用される傾向にあると思われる。

また、手順が述べられるテキストでは、階層的に手順が示されている部分がある。このような階層的な場合には、スルトキ節、スルバアイ節が用いられており、複合的な階層的な構造を表わすために、スルトキ節、スルバアイ節のどちらかを一段階上、または下のレベルのものとして、それぞれにどちらかの形式を用いて、使い分けがなされていた。しかし、(37)～(39)にあげるように、どちらがより上／下の階層のものとして用いるかは書き手の好み・意識のように思われた。また、(40)のように、一つの文のなかに、スルトキ節、スルバアイ節が用いられている場合もあった。こちらも、どちらを先に用いるかの積極的な原則はないようにみえる。

- (37) ワンタッチタイマー録画で設定した録画を停止するときは
 - ・ 一番組だけ録画中の場合は、[停止]を押してください。
 - ・ 同時録画中／追っかけ再生中の場合は、35 をご覧ください。(to 23)
- (38) 3 録画中もう一方の番組の録画も停止する場合は、もう一度[停止]を押す
→確認メッセージが表示されるときは [◀, ▶]で「はい」を選び、[決定]を押します。
- (39) ● 予約を取り消す場合 ⇒ 「取り消す」を選び、確認画面で「する」を選びます
● 予約を変更する場合 ⇒ 「変更する」を選び、予約設定画面で変更してください。内容について詳しくは→73 ページ
・ 番組表から予約した番組の日時を変更するときは[緑](日時変更)を押してください。(sh 80)
- (40) ● 通常の番組や関連番組まとめて予約と予約が重なった場合、複数の番組を録画できないときは、関連番組まとめて予約は行われません。(pa 49)

4.4.2. シタトキ節, シタバアイ節

次に、シタトキ節とシタバアイ節の複文についてみていく。ほとんどの用例が、手順文ではない「B: 操作に関してなんらかの説明をする文」に用いられていた。

- (41) [毎回録画]を設定したとき, 前回録画した番組(タイトル)を削除したうえで新しい回を録画できます。(so 16)
- (42) 暗証番号に関する表示が出たとき デジタル放送には、視聴制限のある番組があり、視聴・録画には暗証番号(→145)の入力が必要です。(pa 52)
- (43) デジタル放送の番組を番組表から予約した場合(eメールの番組表予約を含む), 次のようなときに自動的に録画開始/終了時刻が変更されて録画されます。(to 29)
- (44) 放送電波の受信感度が落ちた場合, 録画が中断されることがあります。(sh 66)

用例数は少ないが、(45)~(48)のように、「A: 操作の手順・方法を述べる文」の用例も採集された。

- (45) 録画モードを「DR」以外に設定したときは 記録する音声, 字幕, 映像を設定してください。(to 33)
- (46) 「！」が表示されたときは, 予約内容を確認してください。(pa 53)
- (47) マイディスク予約専用ディスクを本機からいったん取り出した場合は, 予定開始時刻の5分前までに挿入してください。(sh 84)
- (48) ディスクを入れた場合: 「ブルーレイ(BD)/DVD」を選び, 決定を押す
SDを入れた場合: 「SDカード」を選び, 決定を押す(pa 63)

(41)~(48)の複文は、従属節と主節のことがらの時間関係が<先-後>であるが、時間関係を積極的に表わすものではないだろう。書き手は、まだ起こっていないことがらをさしだして、条件的である(日本語記述文法研究会(2008)など)。一方で、条件形の従属節(スレバ、シタラ、ナラなど)にも、まだ起こっていないことがら(起こるかどうかわからないことがら)をさしだす用法があるが、今回、このような意味の条件形節の用例は採集されなかった。例えば、4.3節でみたように手順テキストに表われるシタラ節は、これから起こることが確実であることがらをさしだすものとして用いられていた。手順テキストにおいて、まだ起こっていないことがら(起こるかどうかわからないことがら)をさしだす用法において、条件形節が用いられないことについては、今後の分析のなかで考えていきたいと思う。

5 まとめ

この論文では、手順テキストにおける時間関係と条件関係の複文を構成する接続形式について分析してきた。

まず、手順テキストがどのような文から構成されているかを明確にして分析を進めていった。その結果、スルト節のように、用いられる文に制限があるものがあることがわかった。次に、時間関係、あるいは条件関係において類義関係にあるそれぞれの形式の選択に

関しては、次の点がわかった。時間関係を表わす接続形式の選択には、シタラ節とシタアト節は人称性と動詞の意志性(意志動詞か否か)が関わっており、シテカラ節は従属節の先行性と手順文の種類とが関わっていることがわかった。条件関係を表わす接続形式のうち、スルニハ節は従属節の述語動詞の形や書き手の好み・意識などから選択されることがわかった。また、スル/シタトキ節、スル/シタバアイ節は手順文の階層構造と書き手の好み・意識などから選択されていることがわかった。以上のように、手順テキストにおいて、類義表現形式の選択には、文法的な制限による選択がある一方で、ある部分ではどちらでもいいような場合の選択があるということがわかった。

参考文献

- 工藤真由美(1992)「現代日本語の時間の従属複文」『横浜国立大学人文紀要.第二類.語学・文学』39.
- 言語学研究会・構文論グループ(1988a)「時間・状況をあらわすつきそい・あわせ文(1)」『教育国語』92,むぎ書房.
- 言語学研究会・構文論グループ(1988b)「時間・状況をあらわすつきそい・あわせ文(2)」『教育国語』93,むぎ書房.
- 高橋太郎(1983)「動詞の条件形の後置詞化」渡辺実編『副用語の研究』明治書院に所収.
- 高橋太郎(2003)『動詞九章』ひつじ書房.
- 日本語記述文法研究会(2008)『現代日本語文法 6 第 11 部 複文』くろしお出版.
- 宮部真由美(2013)「タラ条件形を従属節とする従属複文の主節と従属節の意味類型と複文」『文学部紀要』26-2.
- 森辰則, 龍野弘幸, 中川祐志(1995)「日本語マニュアル文における条件表現「と」「れば」「たら」「なら」から導かれる制約」『自然言語処理』2-4.

用例採集資料(ブルーレイレコーダー 取扱説明書)

シャープ	AQUOS ブルーレイ BD-W1200 (2012年11月発売)	略記号: sh
ソニー	BDZ-EW1000 (2012年10月発売)	略記号: so
パナソニック	スマートディーガ DMR-BWT630 (2012年11月発売)	略記号: pa
東芝	REGZA ブルーレイ DBR-Z320 (2012年11月発売)	略記号: to
三菱	REAL ブルーレイ DVR-BZ360 (2012年2月発売)	略記号: mi

用例採集資料(※すべての文にマークをつけることができないため、代表的な文をマークしている)

番組を検索して予約録画する

1 番組表表示中に **12** を押す

2 「番組表の検索」を選び、**決定**を押す

3 検索方法を選び、**決定**を押す

フリーワード検索

「フリーワード」「ジャンル」「出演者」の検索条件(5件まで)を登録し、1つでも条件することができます。

■検索条件を登録する

- 1 **決定**を押す
- 2 検索方法を選び、**決定**を押す
- 3 「フリーワード」は、必ず入力してください。
- 4 上記手順①～③を繰り返し、検索したい条件を追加してください。

●登録したフリーワードを変更するには

- 1 検索条件を選び、**[決定]**を押す
- 2 「フリーワード編集」を選び、**[決定]**を押す
- 3 文字を入力する(→140)

●登録した検索条件を削除するには

- 1 検索条件を選び、**[黄]**を押す
- 2 「はい」を選び、**[決定]**を押す

■検索する

●検索する放送種別を変更する場合:

- 1 **決定**を押す
- 2 検索したい放送を「入」に設定し、**決定**を押す

●別の日の検索結果を表示するには

[青](前日) **[赤]**(翌日)を押す
(検索結果画面表示中に、**[II一時停止]**を押して日付を選択することもできます)

●番組を選び、**決定**を押す

●「番組予約へ」を選び、**決定**を押す(→41手順5)

●お知らせ

- 検索結果は、放送データの取得状況によって変わりますので、キーワードなど検索条件が一致していても検索できない場合があります。
- インターネットに接続し、「選べるGガイド受信」(→144)を「入」にしている場合、フリーワード検索結果の表示に時間がかかります。
- 「フリーワード検索」で英数字を入力をした場合、半角で登録されますが、検索は半角文字と全角文字を区別せずに行います。

ジャンル検索

キーワード検索

人名検索

●検索条件を選び、**決定**を押す

- この操作を繰り返し、検索条件を絞り込みます。

●放送ごとに表示するには **[地上]****[BS]****[CS]**を押す

●別の日の検索結果を表示するには **[青]**(前日) **[赤]**(翌日)を押す
(検索結果画面表示中に、**[II一時停止]**を押して日付を選択することもできます)

●番組を選び、**決定**を押す

●「番組予約へ」を選び、**決定**を押す(→41手順5)

●録画を始める前に、本機の録画モードの設定を確認・変更したいときは(番組表の表示中に本機の録画モードの設定を変更するときは→▶ p.85)

1. 停止中に、**12**を押してサブメニュー画面を表示する
2. **[▲▼]**で「録画モード」に移動し、**決定**を押す
3. 録画モードを変更するときは、**[▲▼]**で希望の録画モードを選び
4. 画面・変更が終わったら、**戻る**を押して、サブメニュー画面を閉ず

●現在録画中の番組のメディア、放送、チャンネル、録画モードを確認したいときは、**決定**を押して画面表示を表示すると確認できます。

●視聴中に、p.160サブメニューの「この番組を録画する」から、視聴中の番組の録画を始めることもできます。

●外部入力(L1入力、LINK(TS)入力)から録画するときは

a1: 主となる手順・方法を述べる文

B: 操作に関してなんらかの説明をする文

a2: 従となる手順・方法を述べる文

a3: 補足的な手順・方法を述べる文

図1: pa(46)

●録画を始める前に、本機の録画モードの設定を確認・変更したいときは(番組表の表示中に本機の録画モードの設定を変更するときは→▶ p.85)

1. 停止中に、**12**を押してサブメニュー画面を表示する
2. **[▲▼]**で「録画モード」に移動し、**決定**を押す
3. 録画モードを変更するときは、**[▲▼]**で希望の録画モードを選び
4. 画面・変更が終わったら、**戻る**を押して、サブメニュー画面を閉ず

●現在録画中の番組のメディア、放送、チャンネル、録画モードを確認したいときは、**決定**を押して画面表示を表示すると確認できます。

●視聴中に、p.160サブメニューの「この番組を録画する」から、視聴中の番組の録画を始めることもできます。

●外部入力(L1入力、LINK(TS)入力)から録画するときは

a3: 補足的な手順・方法を述べる文

図2: mi(82)